



2・16鳥取地裁抗議行動参加！ 市民が市民に死刑を？ それとも…

広島「制度廃止クマ君」と感激(?)の再会



日本中クマなく
反対!!

鳥取地裁で2月23日から始まる裁判員裁判は、強盗目的で2人を殺した(被告人は強盗目的を否認)とされ、全国初の死刑求刑事件になるのではとされている。場合によっては、市民が市民に死刑を言い渡す初の暴挙になるかもと…。

このとんでもない事態に、山陰の人たちは立ち上がった!

「あなたは人の命が奪えますか?」「裁判所に行くのを止めましょう!」 裁判が始まる1週間前から、鳥取市内で訴えるという。この行動に参加しなくて、何が「裁判員いらなインコ」か! 行かねばならぬ。止めてくれるな(いいから早く行け!)

2月16日正午、鳥取駅前風紋広場に行く。寒風吹きすさぶ中、鳥取、境港、島根、広島、岡山と各地から駆けつけた人たちが熱いマイクアピールを行っている。

「遅い!」といきなり、叱責の声。だれかと思ったら、君は広島の「制度廃止クマ君」じゃないか! 久しぶりだね! 「何が久しぶりだね、だ! 相変わらず、のんきな鳥だな」ムカッ(◇;) のんきって… 「今日は、朝8時からピラ配布だったんだよ。今まで何をしていたの?」 エッΣ(◇;) そんな話は聞いていないぞ 「どうせ二日酔いで、さっきまで寝ていたんだろ」グサッ——(*◇*) → ★スーパー凶星やん★ 「まあ、過ぎたことは仕方がない。今からしっかり頑張ってるね!」 はいっ!(◇;)

デモの先頭で、マイクアピールをするクマ君のお姉さんと一緒に駅前大通りを歩く。いつ聞いても歯切れのいい口調でほれほれする。歩道ではピラを配布している。歩いている人は少ないけれど、その少ない人たちが確実に受け取っていく。わざわざ店から出てきて受け取る人もいる。関心はやっぱり高い!

県庁近くの赤信号で止まっていたとき。突如として歓声が沸き上がる。見ると、校舎の窓に学生が鈴なりになり、手にピラを持って振っている。「ピラ読んだよ」「制度廃止だ」「頑張れ」「応援している」この声援を受けて、寒さで縮こまりそうなハートに一気に火がつく。

裁判所前、さっきまで駅前取材していたマスコミ陣が先回りしている。

「裁判員裁判は憲法違反だ」「裁判員裁判を実施する裁判官は恥を知れ」

裁判所の職員・裁判官はこの声をなんと聞く?!

ぐるりと裁判所の周りを回って、もう一度、裁判所の前へ。裁判所前の歩道が解散地点という素敵なデモコースでした。

↓MSN産経新聞ニュース

裁判所に抗議のこぶしを振り上げるインコ 後ろには横断幕を持つクマ君の姿も



この後、県庁で記者会見。鳥取の人と一緒にインコも筆談で制度の問題を訴えたよ!



↑日本海新聞 インコの横がクマ君のお姉さん



市民団体が反対デモ
23日開始 極刑選択の可能性 鳥取
鳥取地裁23日に始まる裁判員裁判に、県内外の市民団体が反対デモを行う。鳥取市では、市民団体の代表者が、裁判員裁判の是非について、記者会見を開き、意見を述べた。また、市民団体の代表者は、裁判員裁判の是非について、記者会見を開き、意見を述べた。また、市民団体の代表者は、裁判員裁判の是非について、記者会見を開き、意見を述べた。

↑毎日新聞 記者会見の様子

会見の後、インコを見つけた職員に招かれて、とある部屋へ。

そこで作業をしていた人たちと順番に握手。インコはピラの束を手渡す。「これ、みんなに配っておくね。これからも廃止へ頑張ってるね」と激励されて部屋を後にする。みんな、やっぱりイヤなんだ。

夜は、佐和洋亮弁護士(島根県浜田市)による「裁判の劇場化」と題する学習講演会。軽快な語り口で制度の問題を解き明かし、聴衆を魅了。

佐和弁護士は出張先の東京から直接鳥取市に来て、翌日は千葉での裁判のために夜行バスで再上京すること。制度廃止へかける情熱にインコも聴衆も感激!

こうして寒い鳥取での熱い闘いの一日は終わった。

補記: 鳥取の人たちは、選任手続き日の22日と公判初日にも抗議行動を展開!

出頭率は26.1%と最低を記録



↑熱弁をふるう佐和弁護士